

新宿区 中小企業の景況

(平成 23 年 1 月～3 月期)

1. 調査内容の説明

【調査対象】 製造業 (45 件)、印刷業 (36 件)、染色業 (22 件)、建設業 (41 件)、情報通信業 (41 件)、卸売業 (39 件)、小売業 (61 件)、飲食・宿泊業 (68 件)、不動産業 (45 件)、サービス業 (77 件)

【調査方法】 郵送アンケート調査 【調査機関】 (株) 東京商工リサーチ 【調査実施時期】 平成 23 年 4 月中旬

2. 全般的な業況、今期の特徴

業況 D.I (「良い」企業割合－「悪い」企業割合) は▲53 となった。全都と比較するとほぼ同水準である。今後 3 ヶ月の見通しでは厳しさが大きく強まると予想されている。

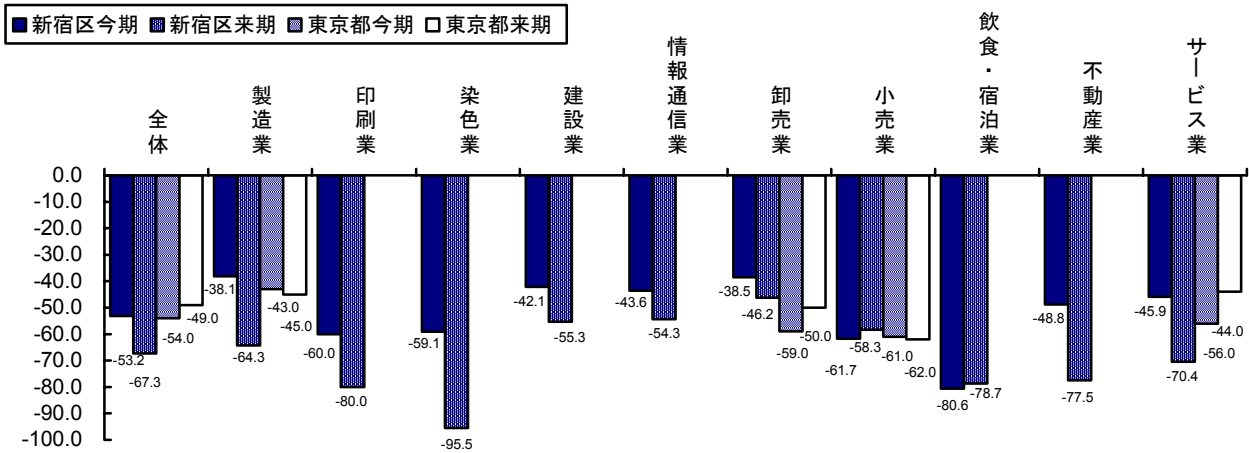
業況が「良い」理由と「悪い」理由については、いずれも「国内需要 (売上) の動向」が 8 割以上と最も多く挙げられており、以下「同業者間の競合」「販売価格の動向」の順に割合が高かった。

業種別に見ると、いずれの業種も水面下ではあるが、製造業が▲38 と最も高く、全都と比較しても 5 ポイント高い。次いで卸売業 (▲39)、建設業 (▲42) の順となった。一方、飲食・宿泊業は▲81 と最も低く厳しい状況であることがうかがえる。来期は小売業、飲食・宿泊業がわずかに上向くものの、それ以外の業種は悪化が予想されている。製造業、印刷業、染色業、不動産業、サービス業は特に大きく悪化傾向を強めると見込まれている。

項目	(%)										
	国内需要 (売上) の動向	海外需要 (売上) の動向	販売価格の動向	仕入価格の動向	仕入れ以外のコスト	資金繰り・資金調達	株式・不動産等の価格の動向	為替レートの動向	税制・会計制度	同業者間の競合	その他
業況 良い	86.7	10.0	25.0	16.7	8.3	15.0	8.3	5.0	1.7	26.7	18.3
悪い	82.8	4.4	33.7	21.2	12.1	29.6	7.4	5.4	1.7	36.4	16.5

3. 項目別 D.I

● 業況 D.I、見通し D.I



※東京都の数値は東京労働産業局が毎月実施している景況調査の 4 月発表の資料によるもの (全体、製造業、卸売業、小売業、サービス業についてのみの比較となります)

業況:

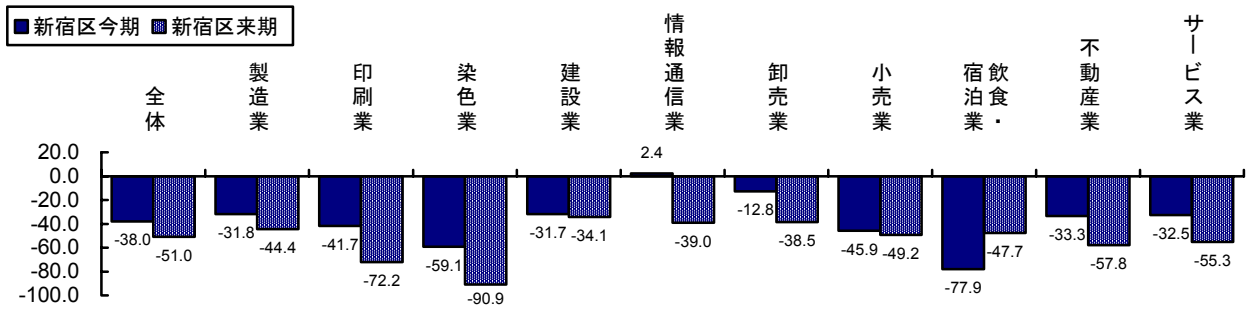
経済全体の景気状態ではなく、個々の企業ないし産業の景気状況。

D.I (ディーアイ):

Diffusion Index の略で、増加 (又は「上昇」「楽」など) したと答えた企業割合から、減少 (又は「下降」「苦しい」など) したと答えた企業割合を差引いた数値のこと。不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものである。

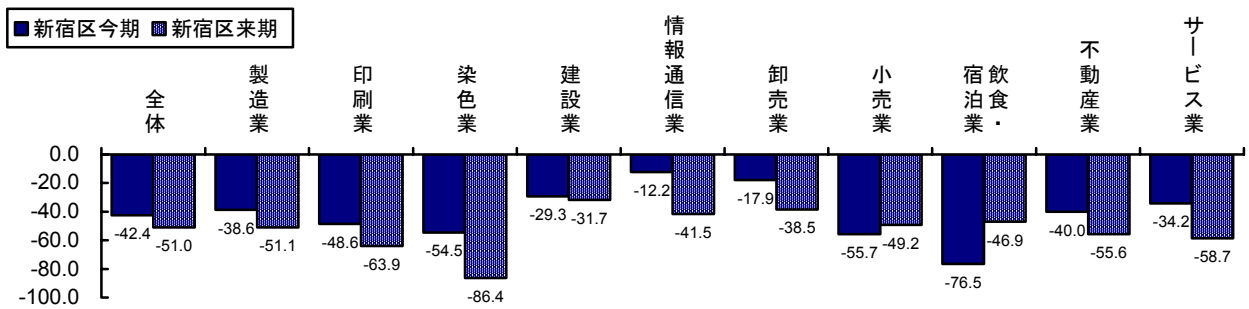
●売上高 D.I

情報通信業を除き、全ての業種が水面下となっている。特に飲食・宿泊業の減少傾向が強い。



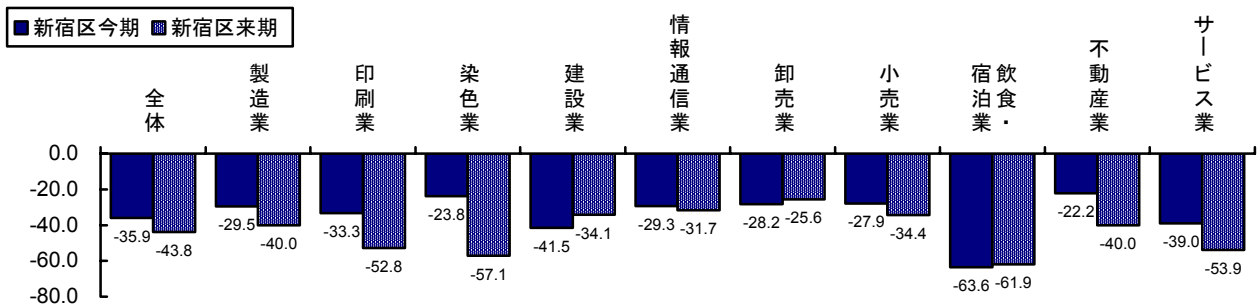
●収益 D.I

全ての業種が水面下となっており、特に飲食・宿泊業の減少傾向が強い。



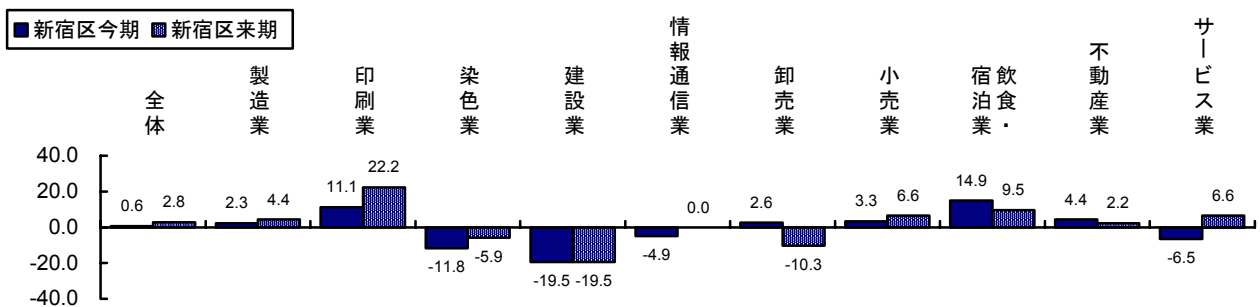
●資金繰り D.I

全ての業種で水面下となっており、特に飲食・宿泊業の窮屈感が強い。



●人手 D.I

飲食・宿泊業、印刷業では過剰感が出ており、建設業、染色業、サービス業では不足感が表れている。



4. 業種別調査項目結果

1) 全体 → (今期→来期)

[今期の景況]

	今期 (23年1月 ~3月)	前期 (次回調 査から)	対前期比 (次回調 査から)	東京都
業況	-53	-	-	-54
売上額	-38	-	-	
収益	-42	-	-	
資金繰り	-36	-	-	
人手	1	-	-	
同期比				
売上額	-39	-	-	
収益	-44	-	-	
資金繰り	-37	-	-	
人手	-2	-	-	
経営上の問題点				
①売上の停滞・減少	73	-	-	
②利幅の縮小	35	-	-	
③同業者間の競争の激化	29	-	-	
④天候の不順	22	-	-	
⑤顧客・ニーズの減少	18	-	-	

[来期の景況見通し]

業況	-67	-	-	-49
売上額	-51	-	-	
収益	-51	-	-	
資金繰り	-44	-	-	
人手	3	-	-	

2) 製造業 →

[今期の景況]

	今期 (23年1月 ~3月)	前期 (次回調 査から)	対前期比 (次回調 査から)	東京都
業況	-38	-	-	-43
売上額	-32	-	-	
収益	-39	-	-	
資金繰り	-30	-	-	
人手	2	-	-	
同期比				
売上額	-23	-	-	
収益	-33	-	-	
資金繰り	-21	-	-	
人手	0	-	-	
経営上の問題点				
①売上の停滞・減少	63	-	-	
②利幅の縮小	33	-	-	
③取引先の減少	23	-	-	
④材料価格の上昇	21	-	-	
⑤同業者間の競争の激化 (他1項目)	16	-	-	

[来期の景況見通し]

業況	-64	-	-	-45
売上額	-44	-	-	
収益	-51	-	-	
資金繰り	-40	-	-	
人手	4	-	-	

3) 印刷業 →

[今期の景況]

	今期 (23年1月 ~3月)	前期 (次回調 査から)	対前期比 (次回調 査から)
業況	-60	-	-
売上額	-42	-	-
収益	-49	-	-
資金繰り	-33	-	-
人手	11	-	-
同期比			
売上額	-55	-	-
収益	-58	-	-
資金繰り	-39	-	-
人手	12	-	-
経営上の問題点			
①売上の停滞・減少	79	-	-
②利幅の縮小	61	-	-
③同業者間の競争の激化	30	-	-
④取引先の減少	24	-	-
⑤販売納入先から (又はサービス料金)の値下げ要請	18	-	-

[来期の景況見通し]

業況	-80	-	-
売上額	-72	-	-
収益	-64	-	-
資金繰り	-53	-	-
人手	22	-	-

4) 染色業 →

[今期の景況]

	今期 (23年1月 ~3月)	前期 (次回調 査から)	対前期比 (次回調 査から)
業況	-59	-	-
売上額	-59	-	-
収益	-55	-	-
資金繰り	-24	-	-
人手	-12	-	-
同期比			
売上額	-41	-	-
収益	-43	-	-
資金繰り	-24	-	-
人手	-6	-	-
経営上の問題点			
①売上の停滞・減少	76	-	-
②顧客・ニーズの減少	48	-	-
③取引先の減少	38	-	-
④利幅の縮小	24	-	-
⑤代金回収の悪化(他2項目)	14	-	-

[来期の景況見通し]

業況	-96	-	-
売上額	-91	-	-
収益	-86	-	-
資金繰り	-57	-	-
人手	-6	-	-

5) 建設業 →

[今期の景況]

	今期 (23年1月 ~3月)	前期 (次回調 査から)	対前期比 (次回調 査から)
業況	-42	-	-
売上額	-32	-	-
収益	-29	-	-
資金繰り	-42	-	-
人手	-20	-	-
同期比			
売上額	-38	-	-
収益	-35	-	-
資金繰り	-43	-	-
人手	0	-	-
経営上の問題点			
①売上の停滞・減少	73	-	-
②同業者間の競争の激化	45	-	-
③利幅の縮小	43	-	-
④取引先の減少	18	-	-
④材料価格の上昇		-	-

[来期の景況見通し]

業況	-55	-	-
売上額	-34	-	-
収益	-32	-	-
資金繰り	-34	-	-
人手	-20	-	-

6) 情報通信業 →

[今期の景況]

	今期 (23年1月 ~3月)	前期 (次回調 査から)	対前期比 (次回調 査から)
業況	-44	-	-
売上額	2	-	-
収益	-12	-	-
資金繰り	-29	-	-
人手	-5	-	-
同期比			
売上額	-8	-	-
収益	-40	-	-
資金繰り	-33	-	-
人手	-10	-	-
経営上の問題点			
①売上の停滞・減少	80	-	-
②利幅の縮小	38	-	-
③同業者間の競争の激化	33	-	-
④人手不足	23	-	-
④顧客・ニーズの減少		-	-

[来期の景況見通し]

業況	-54	-	-
売上額	-39	-	-
収益	-42	-	-
資金繰り	-32	-	-
人手	0	-	-

7) 卸売業 ☔ → ☔

[今期の景況]

	今期 (23年1月 ~3月)	前期 (次回調 査から)	対前期比 (次回調 査から)	東京都
業況	-39	-	-	-59
売上額	-13	-	-	
収益	-18	-	-	
資金繰り	-28	-	-	
人手	3	-	-	
同期比				
売上額	-13	-	-	
収益	-13	-	-	
資金繰り	-18	-	-	
人手	5	-	-	
経営上の問題点				
①売上の停滞・減少	56	-	-	
②同業者間の競争の激化	46	-	-	
③利幅の縮小	31	-	-	
④為替レートの変動	23	-	-	
⑤代金回収の悪化(他2項目)	15	-	-	

[来期の景況見通し]

業況	-46	-	-	-50
売上額	-39	-	-	
収益	-39	-	-	
資金繰り	-26	-	-	
人手	-10	-	-	

8) 小売業 ☔ → ☔

[今期の景況]

	今期 (23年1月 ~3月)	前期 (次回調 査から)	対前期比 (次回調 査から)	東京都
業況	-62	-	-	-61
売上額	-46	-	-	
収益	-56	-	-	
資金繰り	-28	-	-	
人手	3	-	-	
同期比				
売上額	-54	-	-	
収益	-55	-	-	
資金繰り	-29	-	-	
人手	3	-	-	
経営上の問題点				
①売上の停滞・減少	78	-	-	
②天候の不順	38	-	-	
③利幅の縮小	31	-	-	
④同業者間の競争の激化	24	-	-	
⑤人件費の増加	22	-	-	

[来期の景況見通し]

業況	-58	-	-	-62
売上額	-49	-	-	
収益	-49	-	-	
資金繰り	-34	-	-	
人手	7	-	-	

9) 飲食・宿泊業 ☔ → ☔

[今期の景況]

	今期 (23年1月 ~3月)	前期 (次回調 査から)	対前期比 (次回調 査から)
業況	-81	-	-
売上額	-78	-	-
収益	-77	-	-
資金繰り	-64	-	-
人手	15	-	-
同期比			
売上額	-82	-	-
収益	-80	-	-
資金繰り	-70	-	-
人手	-8	-	-
経営上の問題点			
①売上の停滞・減少	84	-	-
②天候の不順	41	-	-
③同業者間の競争の激化	28	-	-
④顧客・ニーズの減少	26	-	-
⑤利幅の縮小	20	-	-

[来期の景況見通し]

業況	-79	-	-
売上額	-48	-	-
収益	-47	-	-
資金繰り	-62	-	-
人手	10	-	-

10) 不動産業 ☔ → ☔

[今期の景況]

	今期 (23年1月 ~3月)	前期 (次回調 査から)	対前期比 (次回調 査から)
業況	-49	-	-
売上額	-33	-	-
収益	-40	-	-
資金繰り	-22	-	-
人手	4	-	-
同期比			
売上額	-33	-	-
収益	-35	-	-
資金繰り	-30	-	-
人手	-2	-	-
経営上の問題点			
①売上の停滞・減少	67	-	-
②利幅の縮小	40	-	-
③天候の不順	23	-	-
④顧客・ニーズの減少	21	-	-
⑤同業者間の競争の激化 (他1項目)	19	-	-

[来期の景況見通し]

業況	-78	-	-
売上額	-58	-	-
収益	-56	-	-
資金繰り	-40	-	-
人手	2	-	-

11) サービス業 ☔ → ☔

[今期の景況]

	今期 (23年1月 ~3月)	前期 (次回調 査から)	対前期比 (次回調 査から)	東京都
業況	-46	-	-	-56
売上額	-33	-	-	
収益	-34	-	-	
資金繰り	-39	-	-	
人手	-7	-	-	
同期比				
売上額	-31	-	-	
収益	-33	-	-	
資金繰り	-40	-	-	
人手	-7	-	-	
経営上の問題点				
①売上の停滞・減少	72	-	-	
②利幅の縮小	40	-	-	
③同業者間の競争の激化	35	-	-	
④天候の不順	18	-	-	
⑤顧客・ニーズの減少	15	-	-	

[来期の景況見通し]

業況	-70	-	-	-44
売上額	-55	-	-	
収益	-59	-	-	
資金繰り	-54	-	-	
人手	7	-	-	

※D.Iを表示している項目:

業況、売上高、収益、資金繰り、人手

※企業割合(%)を表示している項目:

経営上の問題点

5) 情報通信業

- ・ 震災にて回復基調が不透明化。暫く悪化する。
- ・ 顧客からの値下要請が止まない。契約期間が短い上、次の契約継続時には必ず値下要請となる。従業員の賃金アップの期待に応えることができず、労働意欲をそいでしまう。
- ・ 東日本大震災により顧客のトラックに取り付けられた弊社製品が津波で流された。代替品の無償提供や顧客の予算削減により経費が増加し、当初見込んだ売上も減少した。

6) 卸売業

- ・ 全体的に大変良好。更なる業容拡大に努め、既存顧客との関係強化を図るとともに、新規顧客開拓にも積極的に取り組んでいる。
- ・ 売上、収益共に増加したが、地震、原発事故の影響がどのくらい大きいか見極めがつかず不安がある。
- ・ 東日本大震災、及び原発の問題により、更なる売上高減少に進んでいる。夏に向けての電力不足による動向も、かなり影響があるかと考えられる。何とか乗り切って行きたいと思うが、この先がどうなるか不安が大きい。

7) 小売業

- ・ 計画停電、節電等が減少傾向にある売上を一段と低下させている。
- ・ 平成 23 年 1 月より売上減少にあり、苦戦しているところへの震災で入社者が減り、大変困っている。福島原発の風評被害もあり、客が外に出て来ない。この先どうしたら良いか考えている。
- ・ 店舗展開して、新店がまだ軌道にのっていない。また大地震の影響が大きい。

8) 飲食・宿泊業

- ・ 飲食業の経営をしている。平成 23 年に入って売上が減少気味だったところに、3 月の震災があり、その後は驚く程お客足が少なくなって困っている。これは日本中どこも同じ様だが、この状況が長く続くと維持することが出来ない。
- ・ 外食産業は景気の良し悪しを直に受ける。業績の良い店舗、悪い店舗の活動が明確に出始めたので、今後はその整理に努めたいと思う。
- ・ 神宮球場での商売なので、試合中止が業況悪化の多くの原因となっている。また、節電によりナイターゲームがデイゲームとなって入客数が減少したことも販売に影響した。

9) 不動産業

- ・ 景気悪化の為、引越しする方がいない。
- ・ 現在は夏の計画停電に対応できるよう、メーカー等と協力し、策を練っている。風評被害も少なからず受けているため、常に情報を収集し、随時対応している。
- ・ 東日本大震災の影響による市場の縮小は甚大。売上減少による運転資金不足が最大の不安。

10) サービス業

- ・ 平成 23 年 1~3 月までは増加傾向で先行き見通しも良かったが、今回の大震災で全てが変わり、全く見通せなくなった。しばらくは耐えるしかない状況。
- ・ 広告業なので景気が悪いと真っ先に削られる。その上、震災の影響も受けている。
- ・ イベント関係の事業所だが、今回の地震により催物等全て無くなった。収入源が無くなり、かつて最悪の収入となり、固定費を支払うために借金をするしかないような状況で困っている。

新宿区地域文化部産業振興課

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-8-2 BIZ 新宿

TEL 03-3344-0701

発行：平成 23 年 5 月